

2019年度事業報告書

特定非営利活動法人 横浜日独協会

1. 事業の成果

経営管理体制基盤の拡大に向けた取り組みでは、日独草の根交流のさらなる発展・深化を目指している横浜日独協会では、神奈川県指定NPO法人化からさらに認定NPO法人化への弾みをつけるため、2020年度よりの個人正会員の会費値上げに向け、会員の拡大ならびに寄附文化の醸成をすすめることにより、10周年以後のこれからの協会の基盤拡大につながった。

事業活動に関しては、横浜市とドイツとの市民相互による草の根レベルの相互交流をさら進め、日独両国の文化・政治・経済の基礎をなす価値と伝統をさらに発展させることが横浜日独協会の大きな役割であるが、今日まで活動を続けてきた当協会は2020年には任意団体創立以来10周年という節目を迎えるが、それらを踏まえ事業に取り組んだ。

- ① 日独相互理解事業では、日本とドイツの文化・教育・芸術等の分野について例会等を通じて相互理解を進めた。
- ② 日独青少年交流事業では、若者を中心にグローバルな次世代育成と女性の社会的活動に関するフォーラムを開催した。ドイツ・フランクフルト市への高校生派遣は、新型コロナウイルス感染拡大という事態を受け延期とした。海外滞在及び国内在住ヤングクラブ会員とのコミュニケーションツールとなるインターネット・ネットワークの構築には十分な取り組みはできなかった。
- ③ 日独経済情報普及事業では、市内の中小企業を対象に科学技術・情報・イノベーション分野のドイツ企業についてセミナー等を通じて情報提供するとともに、ドイツ系企業と市内中小企業あるいは研究機関等との情報交換、法人間交流に取り組んだ。
- ④ 日独関係団体連携事業では、2018年5月、多様性、ネットワーキング及び持続可能性をキーワードに独日・日独協会による共同宣言（金沢宣言）が採択を受け、協会の枠を超えた広がりのあるネットワークづくりなど、多くの市民との対話に努めた。

開港150周年を迎えた新潟で開催された全国日独協会連合会への出席、フランクフルト日独協会会長来浜時の意見交換・交流、あるいは新駐日大使を横浜に迎え関係機関との日独情報交換・連携などを積極的に行った。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業	内 容	日 時	場 所	従事者 人 員	受 益 対 象 者	支 出 見 込 額 (円)
日独相互理解事業	・市民と市内在住ドイツ人を対象に、日独の相互理解を深めるための文化・芸術等交流目的の講演会・音楽会・セミナー等を開催した。	4/5/7/9/10/11/ 1/2 月	横浜市戸塚区民センター他	7人×8 回	ドイツに関心のある横浜市民及び市内在住ドイツ人等 250人	184,740円
	・市民と市内在住ドイツ人との文化交流会開催と主催、後援等を行うった。 ・文化委員会継続開催 ・オクトーバーフェスト ・クリスマスマーケット後援 ・クリスマスパーティー ・会員個人、所属団体等への支援	4/5/6/7/9/11/12 /1/2/3 月	横浜市内 ／県民センター／ 西区／中 区／都筑 区	7人×15 回	市内在住市民と市内在住ドイツ人及び関係者等 230人	480,440円
日独青少年交流事業	・ドイツ・フランクフルト市からの作文コンテスト派遣青少年を受入れ	4月	横浜市内	5人	ドイツに関心のある高校生並びに若者等 30人	114,996円

市民と市内在住ドイツ人を対象に、日本とドイツの若者及び女性が日独両国の協力、交流や女性の社会進出について体験を交え、将来の方向性を話し合い、親睦を深める機会になる日独ユース・女性フォーラムを開催した。	6月	横浜市内	10人	市内在住の若者とドイツ人及び関係者等 80人	91,079円
ヤングクラブ主催トークショーはCOVID-19のため中止した。	3月				
・大学祭等でのドイツ文化紹介、ドイツ留学生、在独学生等の交流は行わなかった。 ・ヤングクラブと全国のヤングクラブによるSNS等を活用したネットワークの拡大は充分できなかった。	10月 通年 通年	神奈川区 横浜市内 日本国内 ／ドイツ国内	10人 3人	市内在住の若者とドイツ人及び関係者等 日独／独日協会ネットワーク参加者	
高校生作文コンテスト参加校を拡大し優秀者2名フランクフルト市への派遣（横浜市世界をめざす若者応援事業助成金活用）はCOVID-19のため次年度に延期した。	3月	横浜市内	5人	ドイツに関心ある市内高校在校生等 50人	34,377円 ※派遣手続等 当該経費）

<p>日独経済情報普及事業</p>	<p>横浜市内等の主に小企業を対象に、日独相互の技術交流・情報交換等に関する機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜商工会議所、市内地域の工業会あるいは研究機関等との連携に努めた。 ・ドイツ系法人会員の拡大、会報への記事掲載等による広報活動を充実させた。 	<p>10月</p> <p>通年</p>	<p>横浜市内</p>	<p>10人</p>	<p>在横浜ドイツ系企業と日本企業関係者等</p> <p>80人</p>	<p>93,365円</p>
<p>日独関係団体連携事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内等の日独関連諸団体との各種イベントの共催や諸行事への参加を通じ、日独交流を促進した。 ・横浜を訪問した独日協会会員（フランクフルト市）と市民との交流を通じ団体間の連携を促進した。 	<p>4月</p> <p>4月</p> <p>10月</p>	<p>横浜市内</p>	<p>15人</p>	<p>市民及び市内在住ドイツ人と諸団体並びに関係者等</p> <p>100人</p>	<p>279,516円</p>